

# 「鐵と鋼」誌へ寄稿に関する規定

## 一 總

1. 原稿用紙は本會所定のものを使用されし(御請求次第差上ります)。
2. 論文は簡單明瞭を旨とし、文體は平假名交り口語體とすること。
3. 數字は算用數字を用ひ、外國語は片假名にて記す。但し外國固有名詞は原語の儘記すこと。
4. 論文は圖、表、寫眞とも會誌20頁以内とされし。
5. 圖、表、寫眞等は成るべく少くし、同一事項を圖、表兩方にて表す如きは避けられたし。
6. 圖、表、寫眞等の挿入個所は本文中に指定されし。
7. 原稿は本文、圖、表、寫眞毎に各々別個に一括假綴し、圖、表、寫眞にはそれぞれ番號、著者名を附記し置かれたし。
8. 論文冒頭には歐文にて其の摘要を記載すること。

## 二 圖

9. A列4又は5の淡青色方眼紙又は白紙に墨書すること。但し文字は鉛筆書にされし。
10. 線圖の寸法は次の標準に據られたし。

	割 合	例
線 圖 の 横 幅	500~1000	10~200mm
文 字 の 高 さ	20	4.0
太 線	3	0.6
中 線	2	0.4
細 線	1	0.2

## 三 用語、數式

11. 用語は日本鐵鋼協會術語集に據られたし。
12. 紛はしい文字は次の例に従ふこと。

此、其、斯、夫、茲……………この、その、かく、それ、こゝ  
 稍々、稍、扱、益々……………やゝ、やや、さて、ますます  
 加之、如斯、如件……………しかのみならず、かくの如く、くだんのごとし  
 殆んど、盛んに、於いて、以つて……………殆ど、盛に、於て、以て  
 クロムマンガンタングステン鋼……………Cr-Mn-W鋼  
 $\frac{1}{2}$ ,  $\frac{a-b}{c-d}$ ,  $n$  ……………1/2, (a-b)/(c-d), n  
 $\sqrt{a}$ ,  $\sqrt{a+b}$  …………… $\sqrt{a}$ ,  $\sqrt{a+b}$  又は  $(a+b)^{1/2}$   
 r·p·m ……………rev/mm  
 5—8 ……………5~8  
 千九百四十年……………1940年

13. 單位は特別の場合の外メートル法を用ひ、その記號は次の例に従ふこと

キロメートル…………… km	トン (通, 1000 kg)…………… t
メートル…………… m	キログラム…………… kg
センチメートル…………… cm	グラム…………… g
ミリメートル…………… mm	毎平方センチメートル・キログラム…………… kg/cm <sup>2</sup>
平方キロメートル…………… km <sup>2</sup>	毎平方ミリメートル・キログラム…………… kg/mm <sup>2</sup>
立方メートル…………… m <sup>3</sup>	毎平方センチメートル・キログラム・メートル…………… kgm/cm <sup>2</sup>
リットル…………… l	溫度 (攝氏)…………… °C
立方センチメートル…………… cm <sup>3</sup> 又は cc	時間, 分, 秒…………… h, mn, s